

近畿大学病院 産婦人科で骨盤臓器脱に対する治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院 産婦人科（以下、当科）では、「子宮びまん性平滑筋腫症における治療方法」という臨床研究を行っています。そのため、当科で子宮びまん性平滑筋腫症に対する治療を受けられた患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会 (<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>) で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

① 情報の利用目的及び利用方法

この研究では、子宮びまん性平滑筋腫症と診断された症例に対して、治療方法による手術成績、妊娠成績と周産期予後の違いについて検討を行うことを目的としています。2017年1月～2024年10月に子宮びまん性平滑筋腫症と診断された患者様の診療情報を利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供したり、別の研究で利用したりすることはありません。

② 利用する情報の項目

電子カルテ内から下記の情報を収集します。

〈基本情報〉

年齢、主訴、結婚歴、妊娠出産歴

〈疾患情報〉

転帰・治療方法（内分泌治療、手術）、手術方法と成績（摘出筋腫数、出血量、輸血の有無、合併症）、生殖補助医療の有無（有りの場合は方法と成績（妊娠率））、周産期転帰（分娩方法、分娩週数、合併症）

〈臨床検査情報〉

血液学的検査（術前）

尿中一般物質定性、血球算定、血型（ABO）赤血球抗体、末梢血液像、PT、Fib、APTT、GLU、BUN、クレアチニン、蛋白、アルブミン、総ビリルビン、GOT、GPT、LDH、アミラーゼ、CPK、Na、K、Ca、Cl、CRP、Hbs 抗原、HCV 抗体、梅毒定性、HIV 抗原抗体検査

血液生化学的検査（術後）

血球算定、BUN、クレアチニン、尿酸、蛋白、アルブミン、総ビリルビン、GOT、GPT、GLU、アミラーゼ、CPK、Na、K、Ca、Cl、CRP

病理学的検査

手術時の組織診の結果

〈画像検査の結果（初診時、治療終了後）〉
経腔超音波、MRI（単純及び造影）

なお、収集されたデータは本研究の目的以外に利用することはありません。

③ 利用開始する予定日

近畿大学医学部長の研究実施許可日（2025 年 1 月 15 日）

④ 利用する者の範囲

本研究に参加する医師（松村謙臣・小谷泰史・川崎薫・村上幸祐・山本貴子）

⑤ 情報の管理について責任を有するものの名称

近畿大学医学部

⑥ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合には、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。ただし、申し出のタイミング（すでに研究結果の解析段階に入っている、解析がすでに終了している、など）によっては不可能な場合があることをご了解ください。

⑦ ⑥の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

〔お問い合わせ先〕

近畿大学病院 産婦人科 山本貴子

住所：〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 377-2

電話：072-366-0221（内線：3215） FAX：072-368-3745

以上